

これからの社会をたくましく生き抜く力の育成

～学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり～

■本市が考える「たくましく生き抜く力」とは…学校教育においては、目標に向かって自らの学びを生かしたり、他者と協働したりしながら、様々なことに挑戦し続ける力、また、その過程で自分を振り返り、自分の成長を見出す力。

学校教育では主に

新潟市の教育を推進する3つの視点の

視点1 と **視点3** で実現します

視点1 これからの社会で自信をもって自己実現していける子どもを育てます

●子どもの自己肯定感を高めましょう

- 自分の取組を振り返り成長を実感できる活動
- 失敗からの学びも糧とし挑戦し続ける体験

■人に認められる経験は豊富ですが、メタ認知が不足しています

■予測が困難な時代に向けて、変化に積極的に向き合った課題解決が求められます

●子どものコミュニケーション能力を高めましょう

- 考えを伝え合い合意形成し、課題を解決する授業
- 外国語などを用いた積極的なコミュニケーションや、道具としてICT機器を用いたコミュニケーション

■他者と協働し課題を解決するコミュニケーション能力はますます重要です

■グローバル化、超スマート社会に向けた取組が必要です

■上記を実現する基盤として大切なことと捉えています

●学校・学級の支持的風土を醸成しましょう

- 「傾聴・受容」「支援」「自律」をキーワードに、認め合い、助け合い、期待をかけ合い、高め合う温かい集団づくり

視点3 地域と一体となった学校づくりを進めます

●地域と学校が目標を共有し、一体となった取組を進めましょう

■2022年度、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入

学校運営協議会制度は学校評議員制度の発展型であり、保護者や地域、学校が子どもや地域の実態を共有した上で、学校運営の基本方針を校長が作成します。そして、協議を通じてそれぞれが責任や役割を分担し、一体となって教育に取り組みます。学校運営の基本方針に基づき、地域と学校パートナーシップ事業などをより一層推進します。

■これからの社会を見据えた資質・能力を育む必要があります

新潟市の教職員のみなさまへ

新潟市教育ビジョン第4期実施計画では
全市立学校園で、子どもたちの前向きな姿勢を育みます

新潟市教育委員会では、これからの社会の在り方や現在の子どもたちの現状を踏まえ、

中心的な考え方のテーマ 「これからの社会をたくましく生き抜く力の育成」

を設定して、その実現に向けて、全市立学校園と教育委員会が一体となって取り組むことにしました。是非、このテーマに基づく各学校園の取組により、子どもたちの前向きな姿勢を育ててほしいと考えています。

また、第4期実施計画では、学校現場の働き方改革を念頭に置き、新潟市の教育の推進に必要な施策・事業を重点化しました。各学校園ではこれまでの教育活動を、「中心的な考え方のテーマ」の視点から見直して実施することで、より充実した教育実践を目指してください。

新潟市教育ビジョン第4期実施計画概要版 学校園向け資料

新潟市教育委員会 教育総務課 教育政策室 Tel : 025-226-3178

E-mail : somu.ed@city.niigata.lg.jp



内容の詳細は、「新潟市教育ビジョン」で検索していただくか、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.city.niigata.lg.jp/smph/shisei/seisaku/seisaku/keikaku/kyoikuiinkai/kyoikuvision/index.html>